

第6回 岡大サイエンスカフェ

海のちから

～生命のふるさと、資源の宝庫、そして気候変動の主人公～

講師：岡山大学大学院自然科学研究科（理学部）

教授 本水 昌二

“海のちからは”は偉大である。46億年前に地球が誕生し、40億年前に海が生命を誕生させた。四方を海に囲まれた日本では、古くより海からの水産資源により多大な恩恵に浴している。

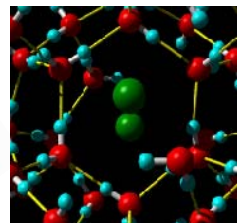
海のちからは、地球温暖化にも深くかかわっている。海流は熱を運び、温暖化にかかわる二酸化炭素の巨大な貯蔵庫の役割を担っている。海は、あらゆる元素を溶かし込んでおり、有用資源の宝庫である。希少金属、ウラン燃料などを海から取り出す時代もくるであろう。海底には膨大な量のメタンが眠っており、日本近海には、国内天然ガス消費量の250年分に相当するメタンハイドレートが存在する。

セルロースに次ぐ第二のバイオマス生産も海のちからによる。カニ、エビの甲羅の成分、キチン・キトサンは化粧品、医薬品、人工皮膚など医用材料、抗菌剤など幅広い用途があり、健康目的やガン治療目的などにも使用されている。

生命のふるさと、多くの恵みを与えてくれる“海のちから”を見直してみよう。

参加者募集

- ◆開催日時
平成20年1月24日(木)
午後6:00～7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館
- ◆申込先
岡山大学 社会連携センター
FAX:086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
- ◆締め切り
平成20年1月18日(金) 午後5時
氏名・年齢・連絡先・電話番号は必ず明記してください
- ◆参加費
無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先
Tel:086-251-7112
社会連携センター 松浦



メタンハイドレート



社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも
(岡山大学の教職員・学生は対象外)